

I. 科学技術振興に関する活動の概要

I-1. 研究助成

1. 募集・応募・選出状況

第22回(2006年度)は、以下により実施しました。

(1) 募集

次の内容で募集を行いました。

(a) 助成趣旨

天然の資源に恵まれない我が国においては、科学技術の育成・振興が重要な課題です。このために、主として科学技術に関する学術研究に対して助成し、振興をはかることにより、調和のとれた科学技術の向上をめざし、文化への貢献ならびに広く社会の発展に寄与することを目的としています。

(b) 助成対象

現在ならびに将来にわたって解決が求められている科学技術に関する基礎研究および応用研究、特に、①機械、②電子・情報、③材料の3分野に係わる先進的・独創的な研究。

(c) 募集方法

研究者の所属する機関または部局等の代表者による推薦方式

(d) 推薦依頼先

国・公・私立大学の理工学系部局の代表者(学部長、研究科長、研究所長等)、および高等専門学校の校長(全国115機関)

(e) 助成金総額 3,200万円

(f) 助成件数 25件程度

(g) 1件当り助成金額 上限200万円

(h) 助成期間 1年または2年

(i) 募集期間 2006年4月24日～6月10日

(2) 応募状況

締切りまでに合計335件の助成申請書を受理しました。その内訳は、以下のとおりです。

(a) 地域別	・中部以東	143件(43%)
	・関西以西	192件(57%)
(b) 分野別	・機械	80件(24%)
	・電子・情報	69件(21%)
	・材料	186件(55%)
(c) 若手研究者(40才以下)		204件(61%)

(3) 助成対象者の選出

科学技術振興関係選考委員会(7月28日、29日開催)において慎重に審査された結果、助成候補として27件が選出され、9月27日開催の第69回評議員会および第83回理事会において正式に承認決定されました。

(4) 助成贈呈書の贈呈

2006年10月中旬から11月上旬にかけて申請代表者を訪問し、贈呈書を贈りました。